

# 籾水分情報 Vol.7

令和6年9月3日  
農業技術研究センター

高温の影響により、例年より出穂が早まりました。気象庁は今後も高温になると予報しており、登熟は早く進み、収穫期の前進が予想されます。高温時には玄米の成熟よりも帯緑色籾の減少が遅れることがあるため、刈り遅れないよう籾水分を確認し、25%になったら収穫を開始しましょう。また、高温時には籾水分のばらつきが大きくなるため、平均値だけではなく、その分布も刈取適期判定に重要です。そこで当センター玉井試験場内水稻ほ場の籾水分状況を調査し、原則として、毎週火、金曜日に公表しています。

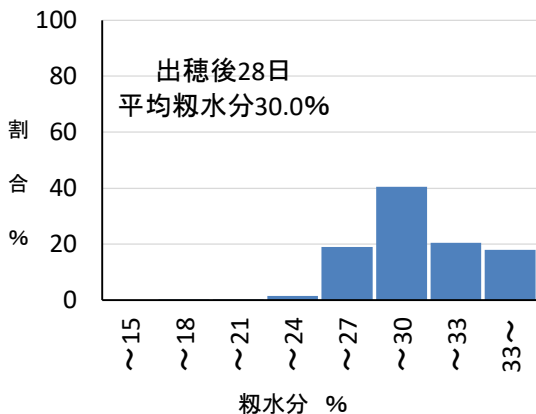
ほ場の観察や籾水分の確認と併せて本情報を活用いただき、適期の刈取りを行い高品質米を生産しましょう。

## 9月2日現在の状況

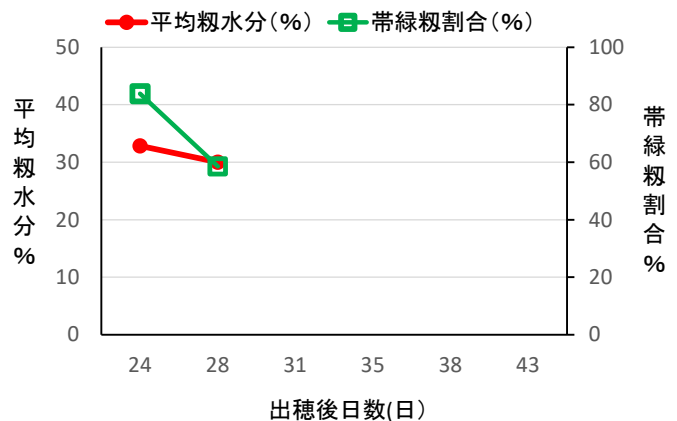
### ◎ 5月29日植「彩のきずな」

(出穂期：8月5日、出穂後28日、出穂～測定前日までの積算気温785℃)

・籾水分の平均値は30.0%です。単粒の籾水分では27%以下のものが2割程度みられていることから、今後籾水分は急速に低下すると思われます。また、秋雨前線の影響を受ける時期となるため、連続した降雨により適期収穫を逸しないよう予報をこまめに確認し、収穫の準備を行いましょう。



○籾水分の分布



○平均籾水分、帯緑籾割合の推移

\* (参考) 早植栽培「彩のきずな」の収穫適期の目安

登熟積算気温 900~1200℃、帯緑籾割合 50~10%

\* 単粒水分の測定方法：午前10時30分頃、中庸な1株からサンプリングした約10本分の穂を脱粒し、2.1mm目の篩により不稔籾を除いた籾を単粒水分計により測定(2反復)。

\* 今後、情報提供予定の品種：5月21日植「彩のかがやき」→9月6日から提供開始  
6月25日植「彩のきずな」→9月10日から提供開始